

～燃やすごみ編～ (12分15秒～15分2秒)

燃やすごみを出すのを手伝う場面

B：先輩、今日は燃やすごみの日でしたよね。

昨日と今日とでごみの分別の仕方も良く分かってきたし、ごみ出し手伝いますね！

あれ??自分の家のごみと比べてなんか多い気がするなあ。。。 (いっぱいになった黄色のごみ袋を見て) もう1枚袋がいるかもしれないですね～

D：ごみ袋の中を見てみて！原因が分かるかも！

B：うーん、なんだろう。(Bが首をかしげながらごみ袋を開けて原因を探す)

【解説 (ナレーション)】 (12分50秒～13分30秒)

燃やすごみを出すときのルールを確認しましょう。

生ごみは出す前にしっかり水を切りましょう。

割れたガラスなどの「危険物」は、厚紙などで包み、ごみ袋の中央に入れてください。

マッチやたばこの吸い殻などは水に浸してください。ライターはガスを使い切り、水に浸してください。

においや汚れの付いた紙、レシートなどの感熱紙、防水加工された紙など、リサイクルできない紙類も「燃やすごみ」として出します。

市の収集の場合は、黄色の燃やすごみ用指定ごみ袋を使用してください。

B：リサイクルできる紙類は昨日分別しましたよね？

D：そこまで分別ができるようになってくれて嬉しいよ！

ん?? (ごみ袋の中を見て) これは、、燃やすごみで捨てちゃだめだよ！
(袋の中から布団が出てくる。)

B：え！そうなんですか？先輩が捨てると昨日おっしゃっていたので、燃やすごみに入れておいたんですが。。

D：これは大型ごみで出すんだ。。

【解説 (ナレーション)】 (13分56秒～14分23秒)

まだ使えるものは、捨てずにフリーマーケットやアプリなどで人に譲る事で、リユースすることができます。

定期収集では出せない家具や、家電4品目とパソコン以外の家電を捨てる時は、大型ごみ受付センターに収集を申し込むと、大型ごみとして出すことができます。詳細は、京都市情報館などで確認してください。

D：この古着も、実はリサイクルに回すことができるよ！

他にも、京都市では資源物をさまざまな場所・方法で回収していて、資源のリサイクルを行っているんだ。「資源物回収マップ」っていう便利なものもあるよ！

【解説テロップ】

資源物回収マップ検索

B：定期収集以外にもいろんな出し方があるんですね～

A：京都市のごみの出し方、ずいぶん学べた気がします！先輩ありがとうございます！！

D：これからも正しい分別をして、みんなも一緒に、人にも環境にも優しい行動を心掛けていこう！！